



## いろいろなものではかろう

1年生の長さの学習では、直接ものを比べて測る直接比較、ブロック、おはじき等の任意ものをひとつの単位として比べる間接比較を学びます。

今日は、間接比較の導入としてオリンピックのトーチの長さをどうやって測るか、自分達の方法で調べる学習をしました。YUDA リンピックの話し合いをしているので、オリンピックのトーチを題材にして興味関心が広げられるようにしました。



T: トーチを見てどう? C: 大きい C: 長い C: 机より長い C: 椅子よりも高い C: 筆箱4個分...  
C: 3個分よ... C: 鉛筆5こぶじゃ T: どんなことしたい? C: 長さとか... C: 長さ調べ C: 測れるよ「さし」なくても... ~ (中略) ~ T: 「さし」を使わなくても測れるって言ってたけど... じゃあやってみよう



メモリのついた紙で



ものさしのいくつ分



ブロックを並べて



数え棒を並べて



消しゴムいくつ分



漢字ドリルで



ノートを並べて

自分の調べたいやり方で、グループで相談したり協力したり、一人で黙々と測ったりしていました。なぜ、それを選んだのか理由を聞いたり活動の様子を見ていたりすると、その子その子の考えが分かりおもしろいな~と思いました。その後、みんなの考えを出し合い、確認していきました。



自分達が調べた結果をまとめよう



C: ブロックは37個分 C: 数え棒は7本とちょっと C: 鉛筆7本分 C: 漢字ドリルは同じ大きさだから分かるよ2つ分と...

C: 2つと3分の... C: 3分の1 (T: すこいこと知ってるね) C: ノートは、たてとよこばらばらで測ったらちがうので、同じにした方がいいと思います...

グループで何種類も測り方を考えたり、一人で黙々と調べたり、苦労しながら調べたりするなどして、一人ひとりの考え方やペースで、何々の何個分ということを学んでいきました。

